

2000年秋にロクスノに頼まれて書いたが(正式に頼まれたわけではないかもしれないが)、忙しくなり、そのままほっぽいておいた原稿。せっかく書いたのにもったいないので、HPにのせることとした。ちょっと完成度が低いような気がする。ただクリスチャンは料理も上手いし、本当にいい奴だった。

クリスチャン・ブレンナ

2000年のワールドカップランキング、現在9位につけているクリスチャン・ブレンナ(イタリア)が東京有明で行なわれたコアゲームのために8月下旬来日し、コンペまでの約1週間我家に滞在した。ほぼ同じ時期に来日した、フランソワフルグランは同じ八王子市内の平山ユージ家に滞在した。クリスチャンとは当然初対面なわけだが、平山ユージによると、本当にいい奴だから大丈夫という。あわててハードプラスチックを見て、クリスチャンを確認する。

金曜日:朝、今日クリスチャンが来るから、と平山から電話。我家はいきなり大掃除がはじまる。使っていない6畳間を彼に使ってもらうことにする。

夕方、なんのガイドブックも持たないクリスチャンが西八王子駅に到着。セブンエーでユージさんの課題を登らされる。易しい課題だとユージさんは言っているようだが、一般人には厳しい課題だ。勝てば100万円の大会に向けてのやる気はすごいものがある。身長は174cmと大きくないが、手は長い。リーチは186cmと10cm以上も手の方が長いと言う。背中は亀の甲羅を背負っているようだ。顔が小さいためか手足の長さや背中の凄さが余計強調されているようだ。

土曜日:パンプ2へ出かけて行った。その規模に驚いたようだった。イタリアにもあんなに大きな壁のジムは無いと言っていた。クリスチャンは通常、ミラノの規模の小さ

なボルダージムでトレーニングしているという。イマジネーションを湧かしてくれる壁があれば、大きさは関係ないとのことだ。あとビレイやハングドック、順番待ちや占領など、ルートは面倒らしい。

日曜日:レスト。いろいろ話しを聞く。ちなみにクリスチャン、フランス語は、読み書き話し完璧だが、英語はかなり苦手。クライミング関係とくにコンペ関連はフランス語が圧倒的に強いようだ。趣味は音楽とバイク。クライミングは87年にはじめたという。少年時代はイタリア初の野球チームに所属して2塁手をやっていた。その後は体操。学校卒業後は電気関係の仕事をしていたという。92年はじめてワールドカップに入賞した時も仕事を持っていたという。イタリアだったら、そんなに仕事は厳しくないだろうと思っていたが、メッセでの仕事のためイベントの関係で結構、土日出勤があったという。

ちなみにイタリアのトップクライマーは3種類。クリスチャンのようなプロ。そして社会人、かつてのクリスチャンもそうだし、この前の世界選手権で平山をやぶった(なんと決勝に残ったのが2回目)ラグニは、インターネットプロバイダーで働いているのだと言う。ちなみにラグニは今年のシャモニでも優勝している。最後が無職、親の世話で活動している連中だと言う。プロといってもフランスとは事情が違うようで、クリスチャンはミリタリーのスポンサーがついている。ルカザルディーニは消防のスポンサーだという。

またイタリアでスポーツと言えば、全てがサッカー中心で、クライミングはそれほどではないのだと言う。(平山ユージによると、それでも日本に比べれば、人気があるという。)

月曜日:ちょっとした用事で新宿へ車で一緒に行く。帰りにスポンサーとの打ち合わせを終えた、平山ユージと、さっき来日したばかりのフランソワを南口で拾って八王

子へ。フランソワは世界のトレードショー
まわりで、ほぼ地球 1 週 1 週間(フランス、
アメリカ、フランス、イタリア、ドイツ、
日本)の旅のあとで疲れきっている。完全
に睡眠不足だと言う。勿論クライミングな
んてしばらくしてないという。普通プロク
ライマーという、毎日登ってばかりのイ
メージがあるが、フランソワも平山も取材
や打ち合わせなど本当にかんりの仕事をこ
なしている。

フランソワは体調不良でそのまま平山家で
寝込む。

クリスチャンと平山はトレーニングをセブ
ンエーで行なう。軽くというはずが結構盛
り上がる。

火曜日：世界の 3 名がセブンエーでトレ
ニングを行なう。約束の午後 1 時にクリ
スチャンは現われたが、平山 フランソワ
組は 1 時間半遅れ。時間に正確なクリス
チャンは珍しいイタリア人なのだろうか？世
界の 3 人が何本が課題を作りながら、夜 9
時過ぎまで登りまくる。彼らの課題の特
徴はホールドが遠くて、身体張力がとて
も必要なこと。しかしフランソワは見て
いて気の毒なくらい調子が悪そう。日本
代表、岡野寛の半分も動けない。平山と
クリスチャンは爆発していると言う感じ。

水曜日：クリスチャンは真昼間に 1 時間
ジョギングやしたのち、7A に現われ、
フランソワおすすめの渋谷へ 1 人で出
かけて行った。彼女へのお土産を買った
ようだ。厚底ブーツのギャルがこけるの
を見たらしい。フランソワと平山はジョ
ギングと整体。

夜、彼のトレーニングの話を聞く。ボル
ダージムでのトレーニングが 5 から 7 割、
残りが自然壁のクライミング。あと普通
週 2 回、MTB で約 2 時間、心肺機能のた
めのトレーニングをしているのだと言
う。ジョギングより自転車の方が、膝
へのインパクトが少ないからとのことだ。
それから、ボルダーコンペは本当に大
好きなのだが、ケガや故障が恐くて、
ちょっと、遠ざかっているのだとも
言っていた。彼がいうには、

ボルダーワールドカップで、勝つことは
できても、連続してタイトルを保持す
ることは至難の技で、年間チャンピ
オンはみなケガや故障で 2 年目はか
わいそうな結果に終わっているのだ
と言う。

プロだから、故障やケガが出来ない
というのは、それは当然だとうなずく。

木曜日：世界の 3 名+クライミング写
真家の飯山健治、ノースフェースの
田口さんと一緒に奥多摩・白妙橋へ。
岩の状態は最悪だと思われるが、世
界の 3 名にはなぜか関係ない。私
は 10 で落ちたので、見学に回る。
びちゃびちゃのジャングルジムを
クリスチャンは 1 撃。すごいすごい
と言っていたら、ユージさんから「
今のはフラッシュだよ」と訂正が
入る。そういえば、ジムでも「
オンサイトじゃないよ」とか結構
ユージさんは細かくこだわっている。
その後、日本料理屋でクライミング
について 3 名は熱く語り合う。こ
の内容はノースフェースのカタログ
に載るのだという。フランソワは
大分体調が良くなったようで、大
変よく語るようになっていた。

金曜日；世界の 3 人で仲良く、コア
ゲームのため有明のホテルへ移動し
ていった。

土・日曜日；コアゲーム開催。私
はサブジャッジとして会場へ。み
んなにがんばって欲しかったが、
結果は結果。賞金を現金でもら
った世界の 3 人が、悪い奴に襲
われたら、3 人で一緒に戦って
守ろうなんて話をしてたのには、
なんとも笑ってしまう。

月曜日：T w a l l 江戸川橋でクリ
スチャンとフランソワは登る。アル
コに向けてとのことだ。そして翌
日ヨーロッパへ帰って行った。

普段平山ユージ 1 人を見ているのに
比べ、ユージさんクラスが 3 名、
目の前で登っているというのは本
当に迫力があつた。3 人のちょ
っとしたクライミングフォームの
違いも興味深かつた。

クライミングジム セブンエー
〒193-0832 東京都八王子市散田町 3-17-11
NSビル B1
TEL:0426-69-5330 FAX:0426-69-5331
Mail:info@7aplus.com www.7aplus.com

またクリスチャンが前評判通り、気さくで
感じのいい奴だったので本当によかった。
あまり知らなかったイタリアクライミング
事情も知ることができたし。少しだけその
情熱を日本に置いていってくれたような気
もする。

それにしても普段活字でしかお目にかかれ
ないクライマーが、家にいたのかと思うと、
今思えばなんとも不思議だ。ドカティに乗
っていた彼が、ママチャリに乗って動きま
わっていたのだから、ユーモラスだ。